

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 23 日

上場会社名 **ダイトケミックス株式会社** 上場取引所 **大証第 2 部**
 コード番号 **4366** URL <http://www.daitochemix.co.jp/>
 代表者 **代表取締役 執行役員 社長 村瀬 千弘**
 問合せ先責任者 **取締役 執行役員 管理部長 二宮 榮規** TEL(06)6911 - 9310

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 1 四半期	3,523 1.6	231 14.1	230 20.5	16 89.2
19 年 3 月期第 1 四半期	3,469 12.1	203 —	191 —	156 —
19 年 3 月期	13,426	575	403	355

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	1 54	-
19 年 3 月期第 1 四半期	14 29	-
19 年 3 月期	32 37	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	19,740	13,278	67.1	1,207 01
19 年 3 月期第 1 四半期	18,286	13,168	72.0	1,200 05
19 年 3 月期	19,839	13,293	66.8	1,208 44

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	268	70	206	3,584
19 年 3 月期第 1 四半期	590	451	301	2,097
19 年 3 月期	1,241	1,006	1,067	3,573

2. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う) : 有

特定子会社の異動)

[新規 社(社名) 除外 1 社(社名 **ダイト技研株式会社**)]

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

【定性的情報・財務諸表等】

1．連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰による原材料の値上がりや金利上昇懸念、米国景気の減速など不安要因はあったものの、企業収益の改善、設備投資の増加など、引き続き好調に推移しました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動、新製品開発の促進、低コスト構造の構築等に全力をあげて取り組みました結果、原材料価格の上昇の影響はありましたが、化成品事業の感光性材料および医薬中間体、環境関連事業の売上が増加したことにより、前年同四半期比増収増益となりました。

この結果、当第1四半期における業績は、売上高 35 億 23 百万円、営業利益 2 億 31 百万円、経常利益 2 億 30 百万円、四半期純利益 16 百万円となりました。

また、事業別セグメントの売上高は、化成品事業が、31 億 5 百万円となりました。「感光性材料及び印刷材料」は、g 線・線用材料と液晶用感光性材料が増加し、15 億 2 百万円となりました。「写真材料及び記録材料」は、イメージング材料と記録材料 12 億 2 百万円となりました。「医薬中間体」は、既存品の増加により、2 億 8 百万円となりました。「その他化成品」は、1 億 91 百万円となりました。環境関連事業の売上高は、順調に推移し、4 億 17 百万円となりました。

2．連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は 197 億 40 百万円、純資産は 132 億 78 百万円、自己資本比率は 67.1% となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物は、前期末比 11 百万円増加し 35 億 84 百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは 2 億 68 百万円の収入となりましたが、これは主に減価償却費の計上および仕入債務の増加によるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは 70 百万円の支出となりましたが、これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。財務活動によるキャッシュ・フローは 2 億 6 百万円の支出となりましたが、これは主に借入金の返済によるものであります。

3．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成 19 年 5 月 18 日開催の取締役会において、当社子会社であるダイソー技研株式会社の全株式 18,000 株を売却することを決議し、平成 19 年 5 月 31 日に売却致しました。これにより、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準において簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日)に基づき、当連結会計年度から棚卸資産の評価基準及び評価方法を総平均法による低価法に変更し、早期適用しております。これにより、従来の方と比較して、営業利益及び経常利益が 4 百万円、税金等調整前当期純利益が 1 億 55 百万円それぞれ減少しております。

3.(要約)四半期連結財務諸表
(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円,%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	当 四 半 期 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		参 考 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
流 動 資 産					
1. 現 金 及 び 預 金	2,047	3,484	1,436	70.2	3,473
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	3,221	3,104	116	3.6	2,898
3. 有 価 証 券	100	100	0	0.2	100
4. た な 卸 資 産	3,244	3,263	18	0.6	3,452
5. そ の 他	499	651	152	30.5	667
流 動 資 産 合 計	9,112	10,604	1,491	16.4	10,591
固 定 資 産					
(1) 有 形 固 定 資 産	7,153	6,907	246	3.4	7,040
(2) 無 形 固 定 資 産	6	7	0	9.9	7
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	2,014	2,222	207	10.3	2,200
固 定 資 産 合 計	9,174	9,136	37	0.4	9,247
資 産 合 計	18,286	19,740	1,454	8.0	19,839
(負 債 の 部)					
流 動 負 債					
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	844	961	117	13.9	819
2. 短 期 借 入 金	1,053	193	859	81.6	326
3. 一 年 以 内 償 還 社 債	-	56	56	-	56
4. そ の 他	1,091	1,180	89	8.2	1,224
流 動 負 債 合 計	2,988	2,391	597	20.0	2,427
固 定 負 債					
1. 社 債	-	1,894	1,894	-	1,894
2. 長 期 借 入 金	1,488	1,680	191	12.9	1,720
3. そ の 他	641	496	144	22.5	504
固 定 負 債 合 計	2,129	4,070	1,941	91.1	4,118
負 債 合 計	5,118	6,462	1,343	26.3	6,546
(純 資 産 の 部)					
株 主 資 本					
1. 資 本 金	2,901	2,901	-	-	2,901
2. 資 本 剰 余 金	4,421	4,421	-	-	4,421
3. 利 益 剰 余 金	5,887	6,037	149	2.5	6,053
4. 自 己 株 式	661	663	1	0.3	663
株 主 資 本 合 計	12,548	12,696	147	1.2	12,712
評 価 ・ 換 算 差 額 等	566	544	22	3.9	544
少 数 株 主 持 分	53	37	15	29.3	35
純 資 産 合 計	13,168	13,278	110	0.8	13,293
負 債 及 び 純 資 産 合 計	18,286	19,740	1,454	8.0	19,839

(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円,%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		参 考 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	3,469	3,523	53	1.6	13,426
売 上 原 価	2,853	2,924	70	2.5	11,253
売 上 総 利 益	615	599	16	2.7	2,172
販売費及び一般管理費	412	367	45	11.0	1,597
営 業 利 益	203	231	28	14.1	575
営 業 外 収 益	10	29	19	175.2	62
営 業 外 費 用	22	30	8	37.1	234
経 常 利 益	191	230	39	20.5	403
特 別 利 益	-	-	-	-	-
特 別 損 失	-	189	189	-	16
税金等調整前四半期 (当期)純利益	191	41	150	78.6	387
法 人 税 等	34	22	12	36.1	30
少 数 株 主 損 益	0	1	2	-	2
四 半 期 (当 期) 純 利 益	156	16	139	89.2	355

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当四半期(平成20年3月期 第1四半期) (単位:百万円)

	化成品事業	環境関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	3,105	432	99	3,638	(114)	3,523
営 業 費 用	2,938	375	96	3,410	(119)	3,291
営 業 利 益	166	57	3	227	4	231

前年同四半期(平成19年3月期 第1四半期) (単位:百万円)

	化成品事業	環境関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	3,103	385	108	3,597	(128)	3,469
営 業 費 用	2,968	325	106	3,400	(133)	3,266
営 業 利 益	135	59	2	197	5	203

参考(平成19年3月期) (単位:百万円)

	化成品事業	環境関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	11,873	1,624	440	13,938	(511)	13,426
営 業 費 用	11,543	1,417	427	13,387	(536)	12,851
営 業 利 益	330	207	13	550	24	575

(注) 1. 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 事業区分の主な内容

- (1) 化成品事業 …… 感光性材料及び印刷材料・写真材料及び記録材料・医薬中間体・その他化成品
- (2) 環境関連事業 …… 産業廃棄物の処理および再生事業等
- (3) その他の事業 …… 物流管理、生産補助、環境・設備保全等の業務請負等

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計額及び全セグメント資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。